

令和6年度 社会福祉法人 播磨福祉会 みらい保育園 保育士自己評価

令和7年3月実施

本園では、保育の質の向上を図るため、保育士の自己評価を行いました。総合評価に基づき、本園の自己評価を本園の自己評価を行いましたので、情報を公開いたします。

※各保育士による自己評価を基に、総合的な結果をだし、評価の低かった点については、改善策を話し合い、共通理解のもと改善に努めます。

【保育士自己評価】

各項目ごとに評価の回答数を合計して、記載しています。

対象・・・保育士18名（設問によっては対象人数がことなる場合があります）

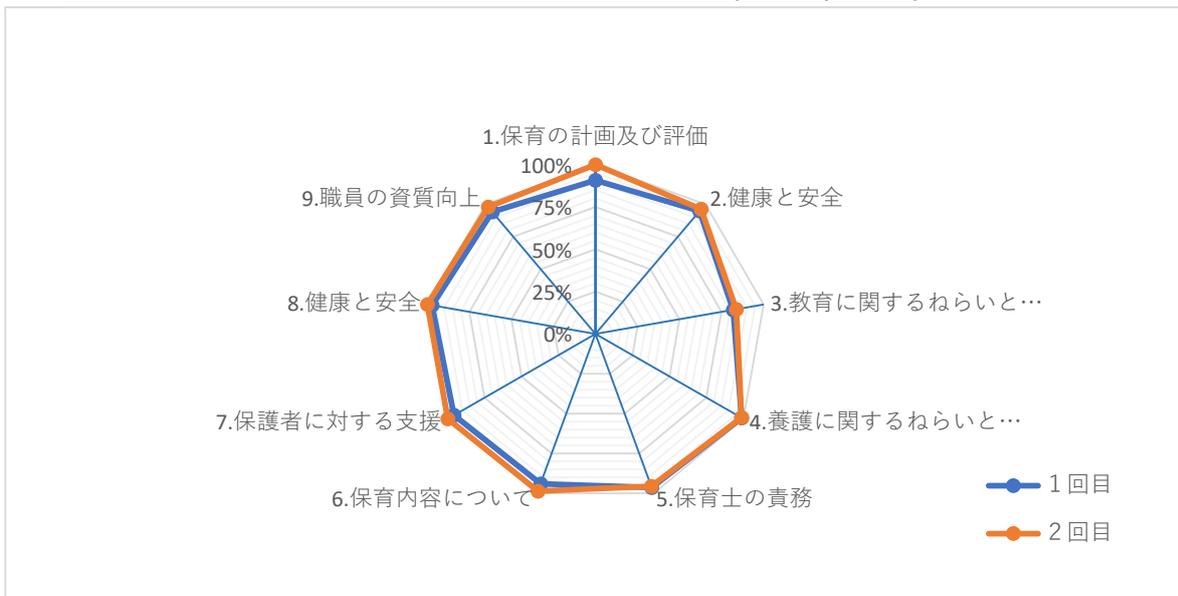
※評価対象の保育士人数は、18名で行ったが、設問の内容により無回答も含め、回答総数が異なる場合があります。今回の評価結果を踏まえ、振り返りを行うことにより、保育実践、内容等の課題を見つけ、改善の方向を探り、保育の質を向上させるとともに今後、さらに豊かな保育を展開していくために活用していきます。

A：よくできた B：できた C：できなかった

◎評価結果（対象：保育士）

※よくできた・できたの割合

項目	1回目	2回目
1.保育の計画及び評価	91%	100%
2.健康と安全	95%	96%
3.教育に関するねらいと内容	82%	84%
4.養護に関するねらいと内容	99%	99%
5.保育士の責務	96%	96%
6.保育内容について	94%	99%
7.保護者に対する支援	96%	100%
8.健康と安全	97%	100%
9.職員の資質向上	94%	98%



●総評

前年に比べて、100%「できた」の項目が増えたことは、保育教諭としての意識が向上し、大変うれしく思います。しかし、教育に関するねらいと内容の項目が86%で、これは未満児の職員が3-3-④で「できなかった」と回答したためではないかと思うところがあります。

今後も定期的に自己評価を行いながら保育を振り返り、結果を共有し「できた」と実感できるように環境作りを工夫し、一緒に考えていきたいと思います。